

蔵王古道復活10周年記念講演会

「蔵王のルーツを訪ねて」

“蔵王”はなぜ“ざおう”と呼ばれるのか？

ふたつの社殿をつなぐ、いにしえの道「蔵王古道」
いつしか歩く人はいなくなり、その存在すら忘れ去られていた道
蔵王古道復活から10周年を記念して午前と午後の2部構成での講演会
蔵王ファンにはぜひお聞きいただきたい講演会

開催日：**8月27日**（日曜日）定員100名

開場10:00

午前の部開演10:30 / 午後の部開演12:45

会場：遠刈田地区公民館 大ホール

入場料：無料(事前予約必要)

締切り：定員になり次第締切り

出演者：櫻本坊 住職／巽良仁(たつみりょうにん) 師

蔵王ジオパーク推進アドバイザー 佐藤洋一氏

和太鼓 幻創

蔵王古道復活にかけた人々

司会 関口幸希子

主催：蔵王古道の会

協力：蔵王ジオパーク推進協議会／蔵王町

問合せ：蔵王古道の会 事務局(裏面に記載)

※会場では昼食、飲み物の販売は致しません。

ご持参いただいた昼食を会場でお召し上がりいただくことは可能です。



蔵王古道
ZAO'S LEGACY TRAIL

午前の部：蔵王古道復活にかけた人々にご出演いただき蔵王古道の10年を振り返り語っていただきます。

午後の部：≪「蔵王のルーツを訪ねて」 蔵王」はなぜ「ざおう」と呼ばれるのか?≫をテーマに奈良吉野から櫻本坊住職の巽良仁（たつみりょうにん）師、蔵王ジオパーク推進アドバイザーの佐藤洋一氏によるトークショー形式の講演会

出演者ご紹介・プログラム



櫻本坊
住職／巽良仁（たつみりょうにん）師

1960年生まれ。上智大学哲学科卒業。
1981年に櫻本坊（さくらもとぼう）
第67世住職拜命。現在に至る。

櫻本坊（さくらもとぼう）は、奈良県吉野郡吉野町吉野山にある天武天皇創建の神仏習合修験道場。本尊は神変大菩薩（役行者）倚像。大峯山寺の護持院

5箇院の1つでもある。山伏文化の殿堂といえるほど多くの文化財が残されている。役行者霊蹟札所。



蔵王ジオパーク推進アドバイザー
佐藤洋一氏

仙台市出身。
福島大学行政社会学部応用社会学科卒業。

平成5年度より蔵王町に文化財保護専門職員として奉職。遺跡発掘調査や指定文化財修理などに携わるとともに、地域の歴史や文化財を多くの人に知ってもらい、活用してもらい、地域の誇りとしてもらう

ことを目指して、『信仰の山・蔵王の歴史』『遠刈田温泉と観光の歴史』『仙台真田氏』『小野さつき訓導』などの周知啓発事業に取り組む。現職は蔵王町総務課防災専門監。蔵王ジオパーク推進アドバイザー（歴史・文化財）。



和太鼓 幻創

和太鼓に魅せられた二人が出逢い平成8年和太鼓グループ幻創を結成。以来、県内外の神社仏閣での奉納演奏、お祭りやイベント等にも参加。アメリカをはじめヨーロッパでの海外演奏でも活躍。演奏に使用している太鼓はすべて手造りです。木をくりぬき、皮をなめす作業は大変な仕事です。和太鼓の音、体の奥底からこみ上げてくる思い。「幻」は限りなく「創

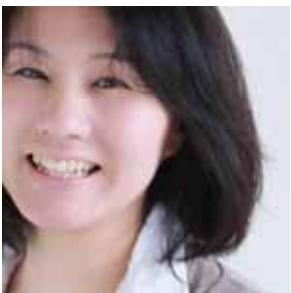
」はつくり出す。何事にもとらわれずに自分達の思いを、体を、音として形として表現。



蔵王古道復活にかけた人々

この人たちが居なかったら蔵王古道の復活はなかった。2011年から4年の歳月をかけて聞き取り調査、膨大な資料の中から蔵王古道の足跡を見つけだし、時間と労力かけて半世紀もの長いあいだ埋もれていた道を蘇らせた人達の中から代表してご出演いただきます。

出演予定：志村正光、遠藤裕一、遠藤裕司、浦川明彦、小室美雪



司会：関口幸希子

フリーライターとして人、食、地域の魅力を取材しています。蔵王古道、青麻山を歩いた蔵王古道ファン。地域情報誌の取材が縁で今回の進行役を務めさせていただきます。

===== プログラム =====

開場 10:00

午前の部

10:30 和太鼓 幻創演奏

10:45 スライドで見る蔵王古道復活10年史

11:00 蔵王古道復活にかけた人々

11:45 午前の部終演

休憩

午後の部

12:45 和太鼓 幻創演奏

13:00 巽良仁師と佐藤洋一氏によるトークショー

14:45 質問コーナー

15:00 午後の部終演

入場申込みは 蔵王古道の会 webサイトからオンラインまたはこの申込用紙を事務局まで郵送又は持参してください。

c-23827-.....

代表者：.....



住所：.....

mail：.....

同伴者1：.....

同伴者2：.....

同伴者3：.....

同伴者4：.....

備考：（質問コーナーを設けます。講師にお聞きしたいご質問などありましたらご記入ください。）